

令和3年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

8月31日に、文部科学省は5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和3年5月27日
- ◆実施対象 中学3年生
- ◆調査内容
  - ・教科調査（国語、数学）
  - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	○
数学	◎

◎＝全国平均を上回る  
○＝全国平均とほぼ同じ  
△＝全国平均を下回る

質問紙	
国語への関心等	◎
数学への関心等	○
やさしさ	○
たくましさ	○
こころざし	◎

「湖西市教育振興基本計画」  
における基本理念より

教科に関すること

○よいところ

◎＝全国平均を上回る  
○＝全国平均とほぼ同じ  
△＝全国平均を下回る

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	正答率（全国）
国語	4①	○漢字を読む。「伸ばして」	・文脈に即して漢字を正しく読む。	96.3	97.5
	1二	○話し合いでの発言について、説明したものとして適切なものを選択する。	・話し合いの中で、質問の意図を正しく捉える。	92.9	92.5
	1一	○話し合いでの司会の発言の役割について、説明したものとして適切なものを選択する。	・話し合いの話題や方向を正しく捉える。	90.3	89.7
数学	7(1)	○比例の関係を表す表やグラフから、二つの数量を表す点を選択する。	・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る。	94.6	93.5
	6(1)	◎12,13,17,18の和が4の倍数になることを捉え、かけ算の式で表す。	・問題場面における考察の対象を明確に捉える。	88.3	83.9

数学	5	◎反復横とびの記録の中央値を求める。	・与えられたデータから中央値を求める。	87.7	84.5
----	---	--------------------	---------------------	------	------

### △もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	正答率(全国)
国語	2一	△意見文の下書きを直した意図として、適切なものを選択する。	・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の關係に注意して書く。	20.3	24.8
	3四	◎「吾輩は猫である」から条件に合った部分を引用し、自分の考えを書く。	・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。	23.8	20.5
	4三	○「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を選択する。	・相手や場に応じて敬語を適切に使う。	40.2	40.3
数学	8(3)	○ある事柄が成り立つ理由を、グラフの特徴を基に説明する。	・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する。	12.1	11.1
	7(2)	○ある数値の求め方を、表やグラフ、式などを用いて説明する。	・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。	26.3	27.7
	6(3)	○計算や考え方の説明を読み、見いだした事実を「～は、…である」の型で説明する。	・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。	30.2	30.3

### ◆成果と課題

国語では、「話すこと・聞くこと」の領域で、全国の平均正答率を上回る結果でしたが、「書くこと」「読むこと」では、やや低い正答率でした。「読むこと」では、夏目漱石の「吾輩は猫である」の本文や、本のカバーに書かれている紹介文から、出題されました。様々な形式の文章に表れている、ものの見方や考え方を的確に捉え、自分の考えを表現することが苦手な生徒が多いことが分かりました。

数学では、ほぼ全ての領域で全国の平均正答率を上回っており、資質・能力がバランスよく身に付いていることが分かりました。しかし、数学的な考え方を記述する問題では、「条件を満たしていない」「説明に必要な用語や数を用いていない」など、論理的に表現することに課題のある生徒が多いことが分かりました。

### ◆今後の取り組み

湖西市では、各学校で7月までに「振り返り」を実施しました。

- 問題文を読み直し、問われていることを確認し、解答例について解説した。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語・数学の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

## 国語

- 相手に発信することを前提として、自分の考えを表現する場を設ける。
- 問題文に条件を付け加えて考えることで、「問われていることは何か」を捉え、答える機会を増やす。
- おすすめ図書を設置したり、本を紹介したりすることで、年齢相応の本に触れる機会をつくる。
- 行事や体験活動の振り返りを書くことで、体験したことと、書くことに関する知識や技能がつながるようにする。
- 生徒が日常的に触れる機会の少ない語句を意識的に扱い、語彙力を養う。

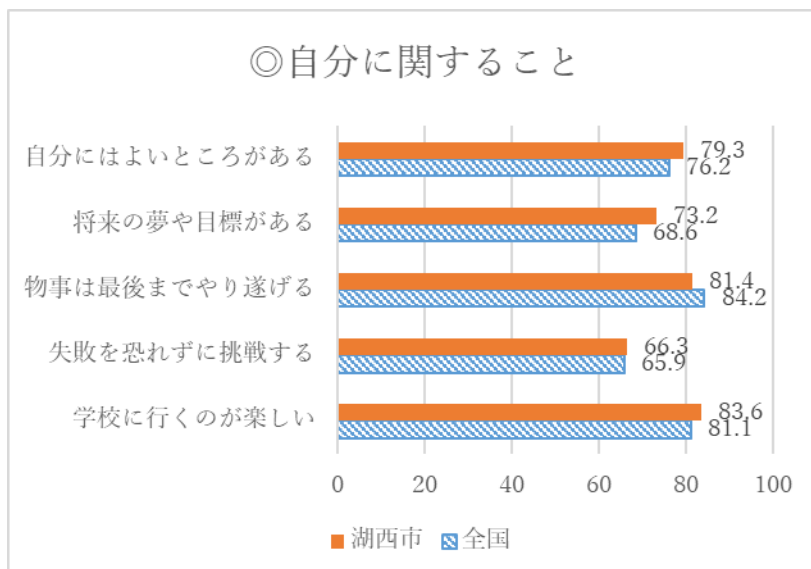
## 数学

- 日常生活に即した問題に取り組むことで、生活の中で数学的思考が活かせることに気付き、学ぶ意欲を高める。
- 自分の考えを表現するときには、他者に理解してもらえるよう説明の仕方を工夫するよう、継続的に指導する。
- 表、グラフ、式や資料など、様々な手段を用いて表現することの良さに気付かせていく。
- 図形では、一つの図で様々な見方ができるような問題に取り組むことで、多様な見方や考え方を育む。
- データの活用の仕方やまとめ方について、考えを議論する活動を取り入れる。

今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。湖西市教育委員会では、子どもたちの実態と各学校の取り組みを共通理解するために学力向上検討会を開催し、湖西市全体で湖西市の子どもたちを育てていきたいと考えています。

## 質問紙調査に関すること

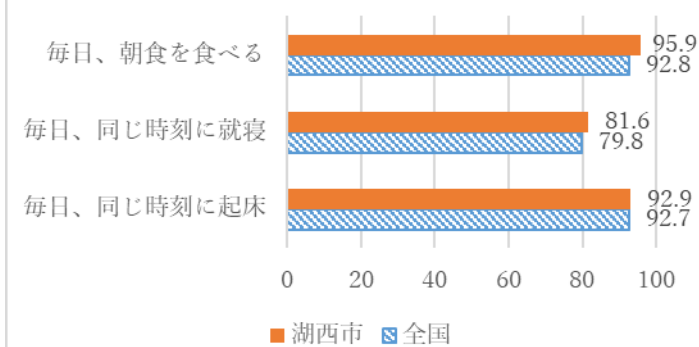
質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計69の質問がありました。肯定的な回答をした生徒の割合から、湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。



約8割の生徒が、自分のよさを認めています。家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、生徒の自己肯定感を高め、成長につながります。

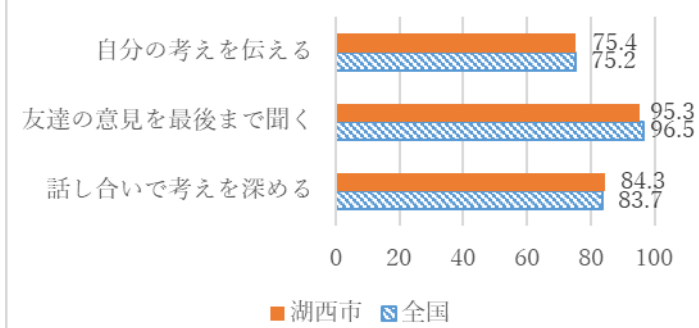
夢はまだ具体的には決まっていなくても、「こんな人になりたい」という目標や向上心をもって、失敗を恐れず、様々なことに挑戦してもらいたいです。

### ◎規則正しい生活



毎日朝食を摂り、十分な睡眠と休養を習慣付けることで、集中力が高まり、学力の定着につながります。部活動や習い事等で帰宅時刻が遅い生徒も多いと思いますが、帰宅後の時間の使い方を決め、今後も規則正しい生活が送れるよう、声掛けや見届けをお願いします。

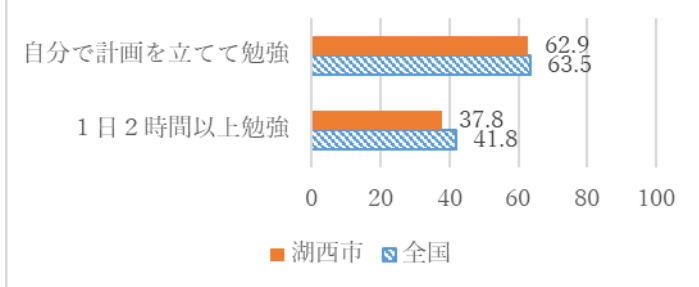
### ◎学級の友達との関わり



長引くコロナ禍の影響で、人との関わりが希薄になっています。

そのような状況下でも、学校の授業では、友達の考えを最後まで聞き、自分の考えと同じところや違うところを受け止めた上で、自分の考えを伝えています。このような「伝え合い」を通じ、多様性を認め合い、さらに自分の考えを深めたり広げたりしています。

### ◎家庭学習に関すること



自分で計画を立てて勉強している生徒の割合は、全国平均と比べて低い傾向が見られます。テストなど、自分の実力を確かめる場に向けて、計画的に学習できるよう、指導していきたいと思っています。

また、結果を踏まえて、学習方法や計画を修正する力も求められます。試行錯誤を繰り返しながら、自分に合った学習方法を見つけていきましょう。

## 学びの基礎 7つの取り組み

### 愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを大切に、自分の考えをもとう
- 健康な体づくりに努めよう
- 笑顔で気持ちよくあいさつをしよう
- 夢に向かって、いろいろな体験をしよう
- 規則正しい生活習慣を身につけよう
- 栄養バランスのよい朝食をとろう
- 家族と約束して、テレビやスマホ中心の生活を見直そう